令和元年第3回臨時会

東 吾 妻 町 議 会 会 議 録

令和元年10月1日 開会

令和元年10月4日 閉会

東 吾 妻 町 議 会

令和元年東吾妻町議会第3回臨時会会議録目次

第 1 号 (10月1日)

○議事日程	1
○本日の会議に付した事件	1
○出席議員	1
○欠席議員	1
○地方自治法第121条第1項の規定により説明のため出席した者の職氏名	1
○職務のため出席した者	2
○議長挨拶	3
○町長挨拶	3
○開会及び開議の宣告	4
○議事日程の報告	4
○会議録署名議員の指名	4
○会期の決定	4
○議案第1号の上程、説明、議案調査	5
○議案第2号の上程、説明、議案調査	6
○議案第3号の上程、説明、議案調査	7
○散会の宣告	9

令和元年東吾妻町議会第3回臨時会

議事日程(第1号)

令和元年10月1日(火)午後1時30分開会

- 第1 会議録署名議員の指名
- 第2 会期の決定
- 第3 議案第1号 令和元年度東吾妻町一般会計補正予算(第4号)
- 第4 議案第2号 工事委託契約の締結について
- 第5 議案第3号 工事請負契約の締結について

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員(14名)

1番	須崎 幸一 君	2番	渡 一美 君
3番	井上 英樹 君	4番	高橋 弘 君
5番	茂木 健司 君	6番	高橋 徳樹 君
7番	里見 武男 君	8番	小林 光一 君
9番	重野 能之 君	10番	竹 渕 博行 君
11番	佐藤 聡一 君	12番	根津 光儀 君
13番	樹下 啓示 君	14番	青柳 はるみ 君

欠席議員(なし)

地方自治法第121条第1項の規定により説明のため出席した者の職氏名

町 長	中澤 恒喜 君	副町長	渡辺 三司 君
教育長	小林 靖能 君	総務課長	茂木 聡 君
企画課長	水出 智明 君	まちづくり 推進課長	武井 幸二 君
保健福祉課長	関 和夫 君	町民課長	片貝 将美 君

税務課長	高橋 篤 君	農林課長	飯塚 順一 君
建設課長	桑原 正明 君	上下水道課長	一場 正貴 君
会計課長兼 会計管理者	田中 康夫 君	学校教育課長	堀込 恒弘 君
社会教育課長	丸橋 昇 君		

職務のため出席した者

議会事務局長	水出 淳	議会事務局 補佐	高橋 智恵子
議会事務局長 係	佐藤 功樹		

◎議長挨拶

○議長（須崎幸一君） 皆さん、こんにちは。

本日、ここに令和元年第3回臨時会が招集されましたところ、議員各位には極めてご多用の折、ご参集をいただき開会できますことに対し、心から感謝を申し上げます。

本臨時会には、補正予算1件、その他2件が付されておりますので、十分にご審議をお願い申し上げ、簡単ではありますが、開会に当たっての挨拶といたします。

◎町長挨拶

○議長（須崎幸一君） 開会に当たり、町長のご挨拶をお願いいたします。

町長。

（町長 中澤恒喜君 登壇）

○町長（中澤恒喜君） 皆さん、こんにちは。

令和元年第3回臨時会の開会に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

実りの秋を迎えまして、議員各位には、公私ともにご多忙にもかかわらず、ご出席を賜り、御礼を申し上げます。

さて、ことし上陸をいたしました台風は4個で、現在は前年より1個少ない上陸数になっておるそうでございます。台風17号につきましては日本海を通過したため、群馬県は特に大きな被害はございませんでした。今後も台風の上陸の可能性はありますので、十分に警戒をしていきたいと考えております。

さて、本日の臨時会では、令和元年度東吾妻町一般会計補正予算（第4号）、その他で契約の締結についてで2件、計3件を提案させていただくものでございます。

提案理由につきましては別に説明させていただきますが、慎重審議の上、ご議決をくださいますようお願いいたしまして、開会のご挨拶といたします。どうぞよろしく願いいたします。

◎開会及び開議の宣告

○議長（須崎幸一君） ただいまより令和元年第3回臨時会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

（午後 1時30分）

◎議事日程の報告

○議長（須崎幸一君） 本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。
議事日程に従い、会議を進めてまいります。

◎会議録署名議員の指名

○議長（須崎幸一君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。
会議録署名議員の指名は、会議規則第125条の規定により2番、渡一美議員、3番、井上英樹議員、14番、青柳はるみ議員を指名いたします。

◎会期の決定

○議長（須崎幸一君） 日程第2、会期の決定を議題といたします。
お諮りいたします。本臨時会の会期は、本日から10月4日までの4日間とし、その日程は
お手元に配付の日程表のとおりとしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（須崎幸一君） 異議なしと認め、会期は4日間とし、その日程は日程表のとおりとすることに決定いたしました。

◎議案第1号の上程、説明、議案調査

○議長（須崎幸一君） 日程第3、議案第1号 令和元年度東吾妻町一般会計補正予算（第4号）を議題といたします。

提案理由の説明を願います。

町長。

（町長 中澤恒喜君 登壇）

○町長（中澤恒喜君） 議案第1号 令和元年度東吾妻町一般会計補正予算（第4号）について、提案理由の説明を申し上げます。

今回補正をお願いする額は、歳入歳出ともに2,300万円を追加し、歳入歳出予算の総額を86億3,381万円とするものでございます。

今回の補正につきましては、豚コレラ対策事業の追加でございます。

詳細につきましては担当課長より説明させていただきますので、ご審議をいただき、ご議決をくださいますようお願いいたします。

○議長（須崎幸一君） 続いて、担当課長の説明を願います。

企画課長。

○企画課長（水出智明君） お世話になります。

そうすれば、補正予算の予算書のほうをごらんをいただきたいと思います。

1ページ目になりますけれども、今回補正をお願いする額は、2,300万円を追加をいたしまして、総額を86億3,381万円とするものでございます。

次に、詳細についてご説明申し上げます。

一番後ろのページになりますが、まず歳入からになります。

歳入の11款1項1目地方交付税につきまして、普通地方交付税を460万円、特別地方交付税を1,840万円、合計で2,300万円を追加するものでございます。

この町負担分の2,300万円の8割につきましては、特別地方交付税措置があるということで、2,300万円の8割として1,840万円、残りの不足分につきましては普通地方交付税を充てるというものでございます。

次の歳出につきましては、農林課長より説明をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○議長（須崎幸一君） 農林課長。

○農林課長（飯塚順一君） お世話になります。

6款1項5目畜産振興費2,300万円の追加のお願いでございます。豚コレラ対策事業補助金の追加でございます。

昨年9月より岐阜県で発生した豚コレラですが、発生が続いており、ことしの9月には隣接の埼玉県で、また、岐阜県でも45例目が確認されております。

このような状況から緊急対策として、侵入防止柵設置の補助として、国では事業費の2分の1を、また、県としても4分の1の補助を行うものであります。町といたしましても、県と同様に4分の1の侵入防止柵設置の補助を行うものでございます。補助対象事業者は町内8事業者、飼育頭数は約4万6,000頭でございます。

なお、参考といたしまして、野生イノシシの豚コレラウイルスにつきましては、4月から8月の間に有害捕獲された町内18検体でございますけれども、全て陰性であったこともあわせてご報告をさせていただきます。

以上です。よろしく申し上げます。

○議長（須崎幸一君） 説明が終わりました。

本件を議案調査といたします。10月3日までに調査が終了いたしますようお願いいたします。

◎議案第2号の上程、説明、議案調査

○議長（須崎幸一君） 日程第4、議案第2号 工事委託契約の締結についてを議題といたします。

提案理由の説明を願います。

町長。

（町長 中澤恒喜君 登壇）

○町長（中澤恒喜君） 議案第2号 工事委託契約の締結について、提案理由の説明を申し上げます。

吾妻溪谷活性化対策事業のうち、水源地域活性化支援事業として国道145号廃道区間の利活用に取り組んでおります。その一つ、シャトルバス転回広場整備工事につきまして、契約金額5,713万5,000円で群馬県知事と工事委託契約の締結をするものでございます。

詳細につきましては担当課長より説明させていただきますので、ご審議をいただき、ご議決をくださいますようよろしくお願いいたします。

○議長（須崎幸一君） 続いて、担当課長の説明をお願いします。

まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（武井幸二君） 議案第2号 工事委託契約の締結について、提案理由の詳細説明を申し上げます。

吾妻溪谷活性化対策事業のうち、水源地域活性化支援事業として国道145号廃道区間の利活用に取り組んでおります。その一つ、シャトルバス転回広場整備工事につきまして、群馬県八ッ場ダム水源地域対策事務所と委託契約を行うものでございます。

工事の内容としましては、八ッ場ダム直下であります群馬県企業局で整備を進めております発電所の下流側で、所在地としては長野原町大字川原畑にありますが、延長107.2メートル、面積にして2,905平米をシャトルバスが転回するエリア、JR廃線敷脇のダムを見上げる展望スペースなどに造成します。

群馬県が執行します工事費は5,605万6,000円を見込んでおり、事務費を合計した契約金額は5,713万5,000円になります。

ご議決いただいた後、群馬県知事と工事委託契約の締結をするものでございます。よろしくをお願いします。

○議長（須崎幸一君） 説明が終わりました。

本件を議案調査といたします。10月3日までに調査が終了いたしますようお願いいたします。

◎議案第3号の上程、説明、議案調査

○議長（須崎幸一君） 日程第5、議案第3号 工事請負契約の締結についてを議題といたします。

提案理由の説明をお願いします。

町長。

（町長 中澤恒喜君 登壇）

○町長（中澤恒喜君） 議案第3号 工事請負契約の締結について、提案理由の説明を申し上

げます。

吾妻溪谷活性化対策事業として、J R 吾妻線廃線敷の利活用に取り組んでおります。今回、J R 吾妻線廃線敷安全対策（道陸神トンネル補修工）工事として、9月20日に町内業者3者による条件つき一般競争入札を行い、群馬県吾妻郡東吾妻町大字原町160番地、池原工業株式会社に1億4,740万円で仮契約を締結したものでございます。

自転車型トロッコをハッ場ダム直下まで運行し、多くの観光客の皆様にご覧いただくため重要な工事となります。

詳細につきましては担当課長より説明させていただきますので、ご審議をいただき、ご議決をくださいますようお願いいたします。

○議長（須崎幸一君） 続いて、担当課長の説明をお願いします。

まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（武井幸二君） 議案第3号 工事請負契約の締結について、提案理由の詳細説明を申し上げます。

吾妻溪谷活性化対策事業として、J R 吾妻線廃線敷の利活用に取り組んでおります。J R 吾妻線廃線敷安全対策（道陸神トンネル補修工）工事は、経年劣化が見られるトンネル内部を補修し、長寿命化を図るとともに、コンクリートの剥落等でご覧いただく観光客の皆様が負傷することのないよう、安全対策を施す工事になります。

主な工事内容としては、総延長432メートルの道陸神トンネルの剥落しそうなコンクリート等をはつる工事295平米、また、馬蹄型のH鋼を1メートル間隔に据えてエキスパンドメタルという網を押さえる工事296メートルなどになります。

条件つき一般競争入札として8月2日に入札公告を行い、同月9日までに参加者を募りました。結果、町内3者の参加希望があり、9月20日に入札を執行しました。

入札結果は、群馬県吾妻郡東吾妻町大字原町160番地、池原工業株式会社に1億3,400万円で落札となり、同日付1億4,740万円で仮契約となっております。

自転車型トロッコの運行にとって重要な工事になります。ご議決いただきますようよろしくお願い申し上げます。

○議長（須崎幸一君） 説明が終わりました。本件を議案調査といたします。10月3日までに調査が終了いたしますようお願いいたします。

◎散会の宣告

○議長（須崎幸一君） 以上で本日の日程は全て終了いたしました。

議員各位に申し上げます。

本臨時会に提案されました議案につきましては、時間を有効に活用し十分調査されるようお願いいたします。

なお、次の本会議は10月4日午前10時から会議を開きますから、ご出席をお願いいたします。

本日はこれをもって散会いたします。

大変お疲れさまでした。

（午後 1時44分）

第 2 号 (10月4日)

○議事日程	1
○本日の会議に付した事件	1
○出席議員	1
○欠席議員	1
○地方自治法第121条第1項の規定により説明のため出席した者の職氏名	1
○職務のため出席した者	2
○開議の宣告	3
○議事日程の報告	3
○議案第1号の質疑、自由討議、討論、採決	3
○議案第2号の質疑、自由討議、討論、採決	13
○議案第3号の質疑、自由討議、討論、採決	22
○閉会の宣告	31
○署名議員	33

令和元年東吾妻町議会第3回臨時会

議事日程(第2号)

令和元年10月4日(金)午前10時開議

第1 議案第1号 令和元年度東吾妻町一般会計補正予算(第4号)

第2 議案第2号 工事委託契約の締結について

第3 議案第3号 工事請負契約の締結について

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員(14名)

1番	須崎幸一君	2番	渡一美君
3番	井上英樹君	4番	高橋弘君
5番	茂木健司君	6番	高橋徳樹君
7番	里見武男君	8番	小林光一君
9番	重野能之君	10番	竹渕博行君
11番	佐藤聡一君	12番	根津光儀君
13番	樹下啓示君	14番	青柳はるみ君

欠席議員(なし)

地方自治法第121条第1項の規定により説明のため出席した者の職氏名

町長	中澤恒喜君	副町長	渡辺三司君
教育長	小林靖能君	総務課長	茂木聡君
企画課長	水出智明君	まちづくり 推進課長	武井幸二君
保健福祉課長	関和夫君	町民課長	片貝将美君
税務課長	高橋篤君	農林課長	飯塚順一君
建設課長	桑原正明君	上下水道課長	一場正貴君

会計課長兼
会計管理
者
田中康夫君
社会教育課長
丸橋昇君

学校教育課長
酒井文彰君

職務のため出席した者

議会事務局長
水出淳
議会事務局長
佐藤功樹

議会事務局
補佐
高橋智恵子

◎開議の宣告

○議長（須崎幸一君） おはようございます。

ただいまより本日の会議を開きます。

（午前10時00分）

◎議事日程の報告

○議長（須崎幸一君） 本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

議事日程に従い、会議を進めてまいります。

◎議案第1号の質疑、自由討議、討論、採決

○議長（須崎幸一君） 日程第1、議案第1号 令和元年度東吾妻町一般会計補正予算（第4号）を議題といたします。

本件については、去る10月1日議案調査としてありますので、ここで質疑を行います。

4番、高橋弘議員。

○4番（高橋 弘君） 幾つかお伺いをさせてもらいたいと思います。

この豚コレラの関係でありますけれども、この対策につきましては毎日のようにテレビであるとか新聞で報道されておりますけれども、本日の上毛新聞によりますと、埼玉県では9月末に野生のイノシシへの感染が確認をされました。群馬県では3日、藤岡市高山で捕獲した野生イノシシの抗体検査を行ったところ、豚コレラの陽性の反応が出たという発表がありました。そしてこれが間違いなく陽性であるということであれば、半径10キロ以内の養豚場は監視対象農場になるということになりますけれども、県とすれば養豚の衛生管理の徹底を呼びかけるほか、野生イノシシなどの侵入防止を指導するというようなことが載っておりますけれども、何よりも未然の防止策が大切だというふうに考えておりますけれども、豚コレラの感染拡大を防ぐための金網の設置を行うということで今回補正予算が出されたわけで

ありますけれども、管内の養豚農家、法人であるとか個人を含めて約8戸から9戸あると思われまして、その中で農協の取扱高につきましては約年間25億円ほどあるわけでありまして、出荷頭数につきましては年間約7万頭ほどあるということであるそうでありまして。法人経営の6件につきましては、約3万5,000頭ほど豚を飼育しているというような現状があるわけでありまして、今回のフェンスを設置するための算出基礎はどういうふうに出されたのかなということをお聞きしたいと思いますし、これにつきましては豚舎、堆肥舎等を全部含まれているのかどうかということもお聞きしたいと思います。

それと、ちょっと長くなりますけれども、ワクチンの接種の関係につきましてはご案内のとおり、現在国内ではワクチンの在庫が約100万頭分しかないということが報道されておりますし、11月末で期限切れするワクチンにつきましては約50万頭ほどあるというふうなことが報道されておりました。現在、感染県で使用ができるということでありまして、政府のほうとすれば、希望する県も対象としたいというようなことでありまして、この使用につきましては県知事の判断ということになるということが報道されておったわけがあります。

それと、豚コレラが発生した場合、この東吾妻町管内で豚を処分するための埋却地の確保は何件ぐらいあるのかどうか、この辺についてもお聞きしたいので、よろしく願いをしたいと思います。

○議長（須崎幸一君） 農林課長。

○農林課長（飯塚順一君） お世話になります。

最初の質問でございます算出基礎でございますけれども、国のほうから示された上限単価というものがございます。金網とか、俗に防止柵でございますけれども、これについてはメーター1万円、上限単価でメーター1万円。それと出入り口の門扉ですか、可動柵、これについては同じくメーター当たり上限4万円というのが国のほうで示されております。

町といたしましては、国の2分の1、県が4分の1、町が4分の1でございますので、それぞれの補助をする団体、今のところ予定していますのはJAあがつまを通した補助、それともう一つが群馬県配合飼料価格安定基金協会というのがありまして、それを通した補助ということで、それぞれの事業者さんが、農協なり、先ほど言った安定協会を通して補助をするというものでございます。その数字、それぞれの事業者さんが要望した額をもとに補助対象として2,300万円ということで算出をしてあります。

ワクチンでございますけれども、先ほど言ったように、議員もおっしゃるように、知事の

権限ということで、今、先週末、中之条のほうで会議がありましたけれども、何かワクチンのその接種の法改正というのが約一月ぐらいかかるということで、その後接種が可能になると。ただ、あくまで知事権限ということと、法的には国がゴーサインを出して、知事が最終決断ということでスタートすると。先ほど言いましたように、法改正が約一月ぐらいかかるだろうと。それと、今ワクチン約100万頭分プラス期限、もうすぐ期限を迎えるのが約50万頭分、50万頭ですか、トータル150万頭。新しくワクチンをつくりますと約2カ月ほどかかると、これについては国のほうで早急にということで指示は出しておるようではございますけれども、実際2カ月ほどかかると。

それと、ワクチンの接種でございますけれども、報道等なり県のいろんな話を聞き、こちら聞いている限りは発生をした県、ですから岐阜、愛知等が、発生したのが今9府県ほどありますけれども、そこが優先だろうということで言われています。ですから、早くても群馬県のほうで接種をとということになると、早くて年末、もしくは年明けぐらいにはなるのではないかとということでの先日の会議での回答というか見解でした。

それと、処分箇所ですけれども、基本的には事業者さんが用意をするものであります。ただ、そうはいつでも事業者さん、それぞれ一番、最大飼われている方が町の業者でいうと2万1,000頭ほどですかありますので、そこを全部いける、その埋設というのは確保はしてありますけれども、そこでは不十分であるということで、町とすれば県とのこの間の何年かずっと、鳥インフルエンザから始まりまして、伝染病があったときのその埋設場所はどこかありますかということで、県に示してあるのは町有地、町有林ですね、町有林というところと一定の何カ所かの場所は示してあります。ただ、県から、その後先日、ちょっと日はあれですけれども、協議をする中では、木が生えていると伐採をして、それから抜根をして埋設と。それではちょっと足りないですねということで、また新たに、今、町担当課とすれば、もうちょっと具体的にすぐできる場所を今探している最中でございます。そういったことで回答にかえさせていただきます。

以上です。

○議長（須崎幸一君） 4番、高橋弘議員。

○4番（高橋 弘君） ありがとうございます。

この豚コレラにつきましては発生しないということが一番いいわけでありまして、仮に発生した場合については、農家の、養豚農家の甚大な被害になるということが目に見えているわけでありまして、仮に発生した場合についても、早急な対策をしていかないと蔓

延する可能性が十二分にあるということでありまして、また、野生イノシシにつきましては、国からワクチンの餌というんですか、それが群馬県に800個ほど配付されたということで、その使用につきましては県知事の判断に委ねるといようなことが報道されておったわけがありますけれども、この東吾妻町につきましては、そのワクチンの餌というんですか、そういったものの対象になるのかどうか、その辺についてお聞きしたいと思います。よろしくお願ひします。

○議長（須崎幸一君） 農林課長。

○農林課長（飯塚順一君） 経口ワクチン、先ほど議員おっしゃるように、800個ということで新聞報道含めて出ています。今、昨日家保に聞きましたところ、埼玉県あるいは長野県境が中心になるだろうということで、具体的にはまだ実際どこという配賦は聞いていませんけれども、どうも東吾妻町近辺よりはやっぱり埼玉、長野県境が多いんだらうということで回答させていただきます。

それと、対策でございますけれども、町の対策、先ほど申すればよかったですけれども、町の対策でございますけれども、9月24日から27日の間でございますけれども、各事業者、事業体に消石灰を配付してあります。1事業体35袋の消石灰を配付いたしまして、合計とすれば280個を配付して、消毒に努めてくださいということをお願いをしてあります。

以上です。

○議長（須崎幸一君） 4番、高橋弘議員。

○4番（高橋 弘君） ありがとうございます。

消石灰につきましては、多分DL消石灰かなというふうに判断をさせてもらいたいと思ひますけれども、1戸あたり35袋平均で配付したということでありまして、また消毒液につきましての配付があったのかどうかということと、あとワクチンの関係でありますけれども、ワクチンについては、接種は獣医師の資格がないとワクチンの接種が多分できないんだらうというふうに私は思っておりますけれども、それについてはどうでしょうか。

○議長（須崎幸一君） 農林課長。

○農林課長（飯塚順一君） 消毒液につきましては、今回についてはちょっと配付はしてありません。前回、年度で言いますと昨年度、年で言えばことしの3月末には同じように石灰と消毒液ということで、ちょっと数量はちょっと今手元に資料がないのでお答えできませんけれども、3月には1回消毒薬と石灰を配付し、今回9月末にそれぞれ配付したと。

ワクチンの接種でございますけれども、議員おっしゃるように、やっぱりそれは獣医師さ

んの資格がないとちょっと難しいと思いますので、ワクチンの接種については町というよりも県の事業となりますので、詳細についてはまた、もし後ほどということでお答えができればと。ただ、資格がないとワクチンは接種できないということでございます。

以上です。

○議長（須崎幸一君） 4番、高橋弘議員。

○4番（高橋 弘君） ありがとうございます。

このワクチンの接種は、先ほど、獣医師の資格がないと接種はできないということでありましてけれども、仮に接種をしたという、した場合につきましては、現在、使用頭数が約3万5,000頭ほど管内にはいるわけでありましてけれども、接種をする豚の対象になるのは全頭するのか、それとも離乳後の豚にするのか、私がJAにいたころにつきましては、よく離乳後の子豚についてワクチンの接種をしていて、耳標を全部したものについてはつけておったんですけれども、その耳標は小さい豚にすると耳が切れたり、そこから化膿したり、いろいろと弊害は出てくるんですけれども、今はそのワクチンの接種というのは直接はしていないというようなことでもありますけれども、その接種した豚と接種しない豚をどういうふうに区分けをして使用をしていくのかなということがちょっと疑問でありますので、お聞きしたいと思います。

○議長（須崎幸一君） 農林課長。

○農林課長（飯塚順一君） 接種した豚と、しない豚の区別ですか、大変申しわけありませんけれども、自分にはちょっと勉強不足でちょっとお答えはできませんけれども、確実なお答えはちょっとできかねますけれども、何らかの方法で分けるんだらうというちょっとご回答しかできません。

以上です。

○議長（須崎幸一君） よろしいですか。

○4番（高橋 弘君） はい。

○議長（須崎幸一君） ほかにございませんか。

14番、青柳はるみ議員。

○14番（青柳はるみ君） 豚コレラについてお伺いします。野生のイノシシについてですが、イノシシを捕獲した場合、血液検査をしているか。また、野生用のイノシシのための経口ワクチンをまいているか教えていただきたいと思います。

○議長（須崎幸一君） 農林課長。

○農林課長（飯塚順一君） 野生イノシシの豚コレラウイルスでございますけれども、今、それ有害駆除の、4月から今月駆除をやっていますけれども、とれた場合には猟友会の方に血液を採取してくださいということをお願いしてあります。

それと、4月から8月まで18検体ほど家畜保健所のほうに検査をお願いしたところ、それについては全て陰性。あと、ちなみに郡内も71頭ですか捕獲をされ、検体として出しましたけれども、それについても全て陰性。それと、経口ワクチンについてはまだこちらとすれば、先ほど高橋議員のご質問にもありましたけれども、国から県に800個来たということで、それ以外町でどうというのは全然、今のところ国から、あるいは県から配付してくれという要請もありませんので、今のところは該当はないということでございます。

以上です。

○議長（須崎幸一君） 14番、青柳はるみ議員。

○14番（青柳はるみ君） イノシシ、野生のイノシシについて、経口ワクチンをまかないということで、捕獲したイノシシを検査するしかないと思いますが、そのイノシシ、今、豚コレラがこれだけ発生して、全国4位の養豚県であることを踏まえて、町では猟友会に対してこの時期限定の捕獲したイノシシに対しての上乗せの補助金とか、これが補助金することでイノシシの捕獲がもっと盛んにしていただけるという効果があればいいんですけれども、こういう考えはありますか。

○議長（須崎幸一君） 農林課長。

○農林課長（飯塚順一君） イノシシの採血については、この間ずっと猟友会の方にはとれたらお願いしますということですのでしてあります。きょうも担当のほうから新たにこういう状況がありましたということで、改めて採血のお願いを通知を出す予定でございます。

上乗せの補助でございますけれども、今のところはちょっと検討はしていないということでございます。

以上です。

○議長（須崎幸一君） 14番、青柳はるみ議員。

○14番（青柳はるみ君） この猟友会の捕獲のイノシシについての補助というのが、前橋市がこの時期だけ通常より5,000円を上乗せするというのを発表しておりました。それが効果的であるならこれがいいと思いますけれども。

あと、消毒についてですが、消毒マットというのを設置するお考えがあるでしょうか。町有施設とか、JAには消毒マットがしてあります。金融機関のところにありますけれども、

そういう町の考えはありますか。

○議長（須崎幸一君） 農林課長。

○農林課長（飯塚順一君） 消毒マットでございますけれども、今いろいろ家畜保健衛生所、家保と協議はしている最中でございます。ただ、どこにという、まだ場所は決めてもありませんけれども、当面、先日の家畜保健衛生所の会議でもマットというご意見も出ていましたので、もし置くとすれば庁舎なり、庁舎がメインかなということで検討はさせていただきます。

以上です。

○議長（須崎幸一君） 14番、青柳はるみ議員。

○14番（青柳はるみ君） 10日前ごろ、渋川市役所に行ったところ、入ったときにはマットがなかったんですけども、出るときにすごく長いマットがあって黒い、何だろうと思ったら豚コレラに対する消毒マットだということで、大勢の方が出入りする市役所のところに敷いてあったんですけど、これは何なんだろうということで、ああこんなに豚コレラというのは非常に大変注意しなくてはいけないものなんだという注意喚起にもなりますけれども、やはり山から帰ってきたときに靴の底を消毒しようとか、また食品残渣をきちっと縛って見えなように処理しようとか、私たち生活者の面でも、その専門家の農場の方だけでなく私たちのところでも気をつけようという、こういう群馬の養豚業を守ろうという住民の注意喚起もしていければなと思います。山から下山するときは靴の底を消毒しましょうとか、食品残渣を放置しないと、さらに住民レベルでの注意喚起も町から行っていただければと思います。が、どうお考えでしょうか。

○議長（須崎幸一君） 農林課長。

○農林課長（飯塚順一君） 消毒の住民への注意喚起でございますけれども、議員おっしゃるように、今後早急に注意喚起のどういうものかちょっと検討をさせていただいて、少なくとも山に入って下山した後は靴の泥を落としてくださいという、中身はちょっと今後あれですけども、喚起を行いたいと思いますのでよろしくお願いします。

以上です。

○議長（須崎幸一君） 14番、青柳はるみ議員。

○14番（青柳はるみ君） 普段から、農林課から町の住民に対して、食べない柿はもう、山際にある柿は、猿やイノシシが食べに来ますから切り落としてくださいとか注意されています。また、穴を掘って食品残渣をそこへ放置する人もいます。

今こそ、豚コレラということで世間も目を向けているときですから、そういうことをきちっとできるように、なかなか農林課で声をかけてやっているんですけども、それが徹底されていないので、今こそ、こういうときに、話題がのっているときにやるべきだと思います。この辺を注意喚起、住民に対してもお願いしたいと思いますけれどもいかがでしょうか。

○議長（須崎幸一君） 農林課長。

○農林課長（飯塚順一君） 議員おっしゃる、庭先の柿の木ですか、食べないような果樹ですか、それについては先月かな、地域おこし協力隊の活動の中で、チラシというか報告書の中で一定程度、例えば食べないような樹木、柿とかの樹木であれば切っていただきたいとか、食物残渣については適正に処理をしてくださいということは、地域おこし活動、協力隊の中の報告の中でもお願いをしておりますので、それとプラス今後はその消毒について、何らかのチラシもしくは広報、何らかの中身で消毒についての注意喚起は行いたいと思います。

以上です。

○議長（須崎幸一君） 12番、根津光儀議員。

○12番（根津光儀君） 皆さんからの質疑応答がありまして、私は農家側に立った形でちょっと発言をさせていただきたいんですけども、養豚農家の方とお話をしてみました、この件について。

今回の防護柵については非常にありがたいということで、ぜひともこれを推進していくべきだということは農家の方からも言われました。ただ、これが現在の豚コレラについていえば、イノシシと豚の接触、直接的な接触ばかりでなく、野生のイノシシが死んで、その肉をカラスがついばんで、そして豚舎の側へ来てふんをするというようなことでも感染は十分起きるし、またネズミが防護柵の向こうとこっちを行ったり来たりするということは十分考えられるので、ネズミそのものに感染はしなくても、運び屋としてはネズミなどが非常に大きい脅威であるというようなことを話しておられました。

今回の防護柵についていえば、アフリカ豚コレラ、すぐそこまで迫ってきている、我が国ではまだ発生していないアフリカ豚コレラの脅威に対しては非常に効果があるのではないかというふうにおっしゃっておられました。この防護柵、ぜひきっちりとして実施してほしいんですけども、農家が一番希望しておられたことは、全頭へのワクチン接種、これをできるだけ早く進めていってほしいということでした。

私その中で、そうすると豚コレラの清浄国ではなくなってしまうのではないですかということをお話をしてみましたところ、現在の我が国の養豚、畜産事業の中で、ほとんど99%が国内

で消費されるものと。外国から餌を輸入して、そして豚を飼育して、国内でそのお肉を食べている状況です。輸出については、九州の最南端の県で黒豚としてアジア方面に若干の輸出があるだけです。したがって、我が国の輸出戦略の中では大きい問題ではないんだということをおっしゃっていました。

山本県知事は一刻も早くワクチン接種を国の段階で進めてほしいということをおっしゃられますけれども、町長としてはこの山本知事の方針、マスコミで一生懸命語っておられますけれども、こういった県の方針についてどのようにお考えなのかお聞かせください。

○議長（須崎幸一君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 東吾妻町の畜産、非常に大きなウエイトを占めておりまして、養豚につきましても年間29億円近い農業産出額でございます。大変大きな産業でございます。

今、その養豚業の危機的状況にあるということでございますので、町といたしましても国の補助、県の補助を受けながら、また、町といたしましても町の補助をつけてこれに対応してまいりたいと思います。

お尋ねのワクチンの接種でございますけれども、当然これが最後の最良の手段だというふうに考えておりますので、ぜひこれにつきましては国の許可もいただいて、知事の決断もいただいて打っていただくのがいいのかなというふうに思っております。

○議長（須崎幸一君） 12番、根津光儀議員。

○12番（根津光儀君） ぜひ県が進めようとしているワクチン接種について、町としてもさまざまな場で後押しをしていってほしいと思います。

それで、このワクチンのことについてですけれども、3カ月間病気が発生していなければ清浄国としてみなすということになっています。既に昨年の8月から発生して、発生が続いていますので、この期間、来年まで発生が続けば汚染国になってしまうんです。しかも、来年の8月から3カ月引けば、もう来年の4月までにこの発生を封じ込めることができなければ、ワクチンをしようがしまいが汚染国として外の国からは見られるということですから、ワクチン接種について何のためらう必要もないと思います。一刻も早くワクチンの製造に取りかかっていただくということを、地方の自治体の段階からもぜひ後押しをしていく必要があるのかな、そういった発言を町長としてもしていただきたいというようなことをお願い申し上げます。

○議長（須崎幸一君） 町長。

○町長（中澤恒喜君） 根津議員のご質問、先ほどお答えいたしましたようにワクチン接種、

最良、最後の手段だということですので、今後も県やJAさんと協力しながら進めていくように、私どもも働きかけていきたいと思えます。

○議長（須崎幸一君） ほかにございませんか。

7番、里見武男議員。

○7番（里見武男君） ある法人では、防護柵の設置ですか、進んでいるとお聞きしましたが、今設置途中ということで、これが今回の補助対象になるのかどうかお聞きしたいんですが。

○議長（須崎幸一君） 農林課長。

○農林課長（飯塚順一君） 今回の補助でございますけれども、国の通知が7月16日に出ています、それ以降、7月16日以降であれば事前着工ということで承認ということであります。ですから先ほど言った、自分のほうも法人何社、1社かな、方が進めているというのは承知をしています。

以上です。

○7番（里見武男君） わかりました。

○議長（須崎幸一君） よろしいですか。

○7番（里見武男君） はい。

○議長（須崎幸一君） ほかにございませんか。

（発言する者なし）

○議長（須崎幸一君） 質疑もないようですので、質疑を打ち切ります。

自由討議を行います。

（発言する者なし）

○議長（須崎幸一君） 自由討議を打ち切ります。

討論を行います。

（発言する者なし）

○議長（須崎幸一君） 討論なしと認めます。

お諮りいたします。本件については、原案のとおりこれを決定することに賛成の方は起立願います。

（起立全員）

○議長（須崎幸一君） 起立全員。

したがって、本件は可決されました。

◎議案第2号の質疑、自由討議、討論、採決

○議長（須崎幸一君） 日程第2、議案第2号 工事委託契約の締結についてを議題といたします。

本件については、去る10月1日議案調査としてありますので、ここで質疑を行います。

8番、小林光一議員。

○8番（小林光一君） 実は、見積金額につきまして、議案調査をちょっと行ったわけなんですけれども、そのとき課長がおられませんでしたので次長にお尋ねをいたしました。しかしながら、ちょっと理解できないところがありましたので、ちょっと質問させていただきたいと思います。

まず、この契約金額から消費税を引いたものが見積金額であるということによろしいでしょうか。

○議長（須崎幸一君） まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（武井幸二君） 契約金額から消費税を引いた額、事業費としまして契約金額5,713万5,000円ということで群馬県と契約をすることになってございます。そのうちの消費税が519万4,090円ということになっております。

○議長（須崎幸一君） 8番、小林光一議員。

○8番（小林光一君） そうしますと、この契約金額から消費税を引いたものが見積金額ではないと、こういうことですか。

○議長（須崎幸一君） まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（武井幸二君） お答えいたします。

見積金額と申しますか、見積書を群馬県からいただいているわけではございません。群馬県と事業を進めるに当たって、この事業、八ッ場ダム及び地域開発特別委員会でも説明をさせてもらっています、以前の9月議会での補正予算でも説明をさせていただいておりますが、バスの転回広場をつくるに当たっての群馬県で工事をする額、群馬県にお願いをする金額、群馬県が工事を出す金額に対して下流都県の、下流都県というか、公益財団法人利根川・荒川水源地域対策基金事業全体計画に基づく事業実施に関する基本協定というのがございまして、その基本協定にのっとって群馬県が工事を出した額に対して何パーセントというふうな事務費がついております。その事務費を足したものが群馬県との委託契約になります。よろ

しくお願いします。

○議長（須崎幸一君） 8番、小林光一議員。

○8番（小林光一君） そうしますと、これは契約金額がもとになって、その消費税とかそういうのを決めているということになるのでしょうか。

○議長（須崎幸一君） まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（武井幸二君） お答えいたします。

群馬県では、昨年度と設計をいたしておりまして、5,096万円という工事を見込んでおります。これは消費税抜きです。5,096万円という工事を見込んでおりまして、10%の消費税を足しますと前回の説明でも申し上げました5,605万6,000円という工事費になります。これは群馬県が設計をしておる金額、見込んでおる金額ですので、この後入札等々で群馬県がやる時に変わるかもしれませんが、5,605万6,000円、これに対して事務費というのが先ほど言いました基本協定で結ばれておりまして、それに対して2.75%を掛けたもの。また、その7割以下を事務費として足すと。で、群馬県と委託契約をするということで基本協定が交わされておりまして、実際の工事費に事務費が足された合計金額が5,713万5,000円というふうになっております。よろしくお願いします。

○議長（須崎幸一君） 8番、小林光一議員。

○8番（小林光一君） といいますと、事務費とかそういうものが入ってということでご理解をすればいいということになるわけですね。

○議長（須崎幸一君） まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（武井幸二君） お答えいたします。

工事費に消費税を足したものに対して事務費を計算しておりますので、総合計の事業費のうち10%分は消費税になるというふうに額としてなるということになりますので、この契約の表の額、5,713万5,000円には消費税が含まれた額で計算をされておるものですから、内消費税ということで519万4,090円というふうな内消費税額を示させてもらっております。よろしくお願いします。

○議長（須崎幸一君） よろしいですか。

○8番（小林光一君） わかりました。

○議長（須崎幸一君） ほかにございませんか。

10番、竹淵博行議員。

○10番（竹淵博行君） 今、課長からの説明がありました。単純に私どもその事業の内訳自

体ちょっと存じておりませんので、要はこれの締結に示されている契約金額5,713万5,000円、そのうち消費税が519万4,090円ということで示されているわけなので、単純にもの言えないのかもしれませんが、中には8%の消費税がかかるもの、また10%かかるものというのが混在しているのかということも考えられるんだけど、単純に考えると5,713万5,000円から消費税を引いた額、この金額が通常であれば内容はともかくとして、その事務費がどうのこうのという話があるかもしれませんが中身的には、5,194万910円になるんですよ、単純に考えると、引きますと。消費税というのはあくまでこれ税金ですから10%ですよ。多分10%で計算されているんだと思うんですよ。そうすると、消費税金額というのが519万4,091円になるんですよ。そうすると、契約金額そのものが5,713万5,001円にならないとおかしくなってしまうんですね。そうすると、何が言いたいかということ、その事業費そのもので減額するのであればわかるんだけど、消費税自体を1円減額しているという理屈にならないかというふうに私はちょっと疑問に思うわけなので、そこちょっと説明いただけますか。

○議長（須崎幸一君） まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（武井幸二君） 群馬県のほうからいただいております事業総括ということで、5,713万5,000円のうちの消費税額として519万4,090円ということでいただいております。計算上というか、今、議員申されますように、事業費から519万4,090円を引いて、残りの額に今度は10%の消費税をかけて計算すると最後に1円が浮いてくるという計算は、私も計算上そうなるなということは見えておりますけれども、群馬県としましては519万4,090円の消費税で事業費として5,713万5,000円で町と契約をしたいということで、今後ですけれども、議決をいただいた後にはそういう契約になるということで進めております。よろしくをお願いします。

○議長（須崎幸一君） 10番、竹淵博行議員。

○10番（竹淵博行君） 課長が言っていることはわからなくはないんですよ。ただ、群馬県から示されているといっても、担当課のほうで計算したら1円、要するに契約金額が飛んで飛んで1円になるということですよ。その辺は県のほうと確認済んでいるんですか。

○議長（須崎幸一君） まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（武井幸二君） はい、群馬県とは話を済んでおります。計算上で消費税が計算こういうふうになるんですけども、事業費の契約については5,713万5,000円で契約をいただければということで、群馬県とは話が済んでおります。よろしくをお願いします。

○議長（須崎幸一君） 10番、竹渕博行議員。

○10番（竹渕博行君） ありがとうございます。

そうすると今回の契約については、消費税10%の部分の1円部分を減額したものではないということの解釈でいいですか。

私が言いたいのは、消費税そのものが減額されるというのは非常に問題であるのではないかと。要するに、契約そのものがとんとんで1円になったからその端数を切って契約金額にするというのは可能なかもしれませんが、計算上、元金があって、要するに見積金額があって、それに対して10%を掛けるというのはもう決まっている話ですよ。例えば1円といえども、私ども例えば税金が還付になるときに、1円であっても300円の経費がかかって還付されると。非常にその1円の重さというものは痛感しているわけです。

そういった中で、契約そのものをだめだと言っているわけではなくて、消費税そのものが減額されているわけではないですねというような確認なんです。そうでなければ別に問題ないと思うんですが、消費税そのものが、これ単純に計算すると、とんとんで1円になるんですよ。要するに519万4,091円になる。それが足されて合計金額が5,713万5,001円になるわけですよ、単純に考えると。1円だからとそれをカットしたことによって、それは消費税を減額したということになりませんかということをお私言っているんです。

○議長（須崎幸一君） まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（武井幸二君） お答えいたします。

消費税を減額しているということではありません。事業費として5,713万5,000円で群馬県と契約をさせていただきます。これにつきましては、先ほど事務費という説明をさせていただきましたが、事務費については107万9,000円以内ということでやらせてもらっておりまして、それを足した額が5,713万5,000円になっておりまして、消費税を1円納めないというふうな話ではございません。群馬県との契約が5,713万5,000円ということで、委託契約をさせてもらいまして、うち消費税分を519万4,090円として見ておりますけれども、1円分消費税を見ないというか、契約、事業費の中で5,713万5,000円で契約をさせてもらっておりまして、1円を、消費税分を見ないということではございません。事務費の中で見ております。よろしく申し上げます。

○議長（須崎幸一君） 10番、竹渕博行議員。

○10番（竹渕博行君） 1円でこれだけ議論をするというのも何なんです、事務費のほうで見ているといってもよくわからないんですよ。事務費であろうと、事業費であろうと

10%ですよね。基本的にはトータルですよね。8%のものというのはいわゆるですね。今回の事業の中で、消費税が8%と10%のものというのがあるんですか。または消費税がかからないもの、あるんでしょうか。

○議長（須崎幸一君） まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（武井幸二君） お答えいたします。

消費税につきましては10%で計算をさせてもらっております。群馬県で見込んでおる工事費については5,096万円、そこに10%の消費税を足したものが5,605万6,000円、そこに計算式としまして5,605万6,000円に事務費2.75%という計算が出てきます。2.75%という計算をしていきますと、154万1,500円、154万1,500円のうち7割以内を事務費として群馬県に納めるという協定になっております。7割以内でございます。それで、そこを1,000円丸めして群馬県は契約をしたいということで来ておまして、1,000円丸めをしているものから107万9,000円、先ほど申し上げました5,605万6,000円に107万9,000円を足したものが5,713万5,000円になって、その契約になっております。よろしく申し上げます。

○議長（須崎幸一君） 10番、竹淵博行議員。

○10番（竹淵博行君） 非常にちょっとわからないんですけども、要は何があらうと、例えばそのうちの何パーセントという割合が仮にあったとしても、それに対して基本的には10%ということなんだと思うんですよね。そうするとその積み上げた金額というのは5,194万910円じゃないということですかね。幾らになるんですか。結局その積み上げた金額自体が幾らになるんですか。それだけでいいですよ、その内容はちょっとよくわからないので。だから消費税がかかる前の積み上げた金額は幾らになるんですかということですか。

○議長（須崎幸一君） まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（武井幸二君） お答えいたします。

消費税が計算をされる前の積み上げた金額という、今、質問がございましたが、消費税が含まれた額に対しての事務費を計算しておるものですから、先ほどの説明になりました。消費税がもう入った工事費に対しての事務費の、先ほど言った2.75であったり、7割だったりという計算になっております。よろしく申し上げます。

○議長（須崎幸一君） 10番、竹淵博行議員。

○10番（竹淵博行君） そうすると、消費税を今回も逆算しているということになるんですかね、要は。消費税込みの金額が示されていて、それで今回我々議会に示すに当たって、519万4,090円というのが逆算されて示されているということによろしいですか。そういう

多分答弁だったと思うんですけども。

○議長（須崎幸一君） まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（武井幸二君） お答えいたします。

事業費5,713万5,000円のうち、消費税は519万4,090円ということで群馬県のほうから示された場合、それで契約をしたいというふうに考えてございます。よろしく申し上げます。

○議長（須崎幸一君） 10番、竹淵博行議員。

○10番（竹淵博行君） いやいやそのわかるんですよ、群馬県からこういうふうに示されたわかるけれども、その詳細については担当課が全部把握されているわけですよ。それを積み上げていって、消費税を掛けた場合に5,713万5,000円ぴったりになるということなんでしょうけれども、それで正しいんですかね。もしその1円違えばそれをちゃんと県のほうとちゃんと協議しないと合わなくなってしまうと思うんだけど、要は事業費、事務費、あとはその県の持ち分だとかいろいろあるんだと思うんだけど、基本的にはその積み上げた金額というのはあるんでしょう。それに対して10%掛けるわけですよ。県としたりってその根拠というのを示されているわけですよ、町に対して。その辺どうなんですか。

○議長（須崎幸一君） まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（武井幸二君） お答えいたします。

先ほども申しあげましたけれども、群馬県で消費税込みの事業費をまず計算をしたところに事務費の計算、これは先ほど言いました基本協定にのっとった数字ですけども、事業費があるものに対して事務費の計算をしておりますので、総事業費につきましては5,713万5,000円というのは消費税を入れたものに対して事務費を計算したのを足しております、それについては内税という観点でございまして、それに対して内税の部に519万4,090円ということで計算をしております。よろしく申し上げます。

○議長（須崎幸一君） 10番、竹淵博行議員。

○10番（竹淵博行君） 内税ですか。まるっきりちょっとわからなくなってしまうんだけど、基本的に我々に示されているのはこれしかないわけですけども、課長の手元には県からの示された金額が当然ある。今回、1円違うんだか9円違うんだかという、ちょっとそちらの手元にある資料わかりませんが、単純にこれだけ見る限りだと1円違うというふうに捉えてしまうんだけど、その辺ぴったりその、最後5,000円という形で内訳になっているんですかね。内税そのものがよくわからない。何で内税になっているのかもわからない。行政と行政のやりとりのときは内税なんですか。そんなことないと思うんだけど

も。事務費を仮に足したとしても、今回その1円が少ない云々という話なので、もっと単純な話のような気がするんですね。もし複雑な形で私を説得する内容を課長の手元にあって、きちっとその5,000円になるんだという根拠があるのであれば示していただきたいんですけども。

私が一番心配しているのは、やはりその事業費そのものがあって、事務費があろうとなかろうと、それに対してやっぱり10%が消費税なんだという考え方でないとおかしいと思うんです。その10%の部分で1円減っているということになると、消費税そのものが減額されているのではないかというふうに感じてしまうので、そこをきちっと示していただきたいんですけども。消費税込みで云々というのはちょっとよくわからないですけども。

○議長（須崎幸一君） まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（武井幸二君） お答えします。

行政同士の場合には内税なのかというご質問をいただきましたが、ちょっと私経験値ございません。申しわけございません。

今回につきましては、5,713万5,000円ということで委託契約を結びたい。うち消費税が519万4,090円ということで示していただいておりますので、内税だというふうに思っております。1円の分については、先ほどから申し上げておりますとおり、事務費の中で群馬県としては計算をしているんだというふうに思っております。よろしく申し上げます。

○議長（須崎幸一君） 10番、竹淵博行議員。

○10番（竹淵博行君） 担当課長じゃ私の質問わからないということなので、財政担当企画課長、その辺わかりますか。

○議長（須崎幸一君） 企画課長。

○企画課長（水出智明君） 内容的なものを私の手元にないのと、聞いていけませんので、その辺の事業費が幾らで、その消費税が、そこに消費税を掛けて、その全体の中に県のその事務費をパーセンテージで掛けたものがこの金額になるというところは聞いていますけれども、それ以外のところは特に聞いていないところです。

○議長（須崎幸一君） 10番、竹淵博行議員。

○10番（竹淵博行君） そうすると、事業費があって、それに対して10%かかっているものの金額がある。それに対して事務費を計算して乗っけて、事務費の中の事業費部分を減額して、トータル5,713万5,000円にしているという解釈なんでしょうか。そうするとそれどこかで1円なり何か値引きみたいなのをしているんですかね。どっちにしたって合わないんで

すよ。だから合わないという部分はその事業費なり事務費なりで減額しているんだという根拠はあるんですか。

○議長（須崎幸一君） まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（武井幸二君） 本工事費につきましては10%消費税を見ておりますので、事務費の中の計算で1,000円丸めにするときに1円分減額をしているというふうに計算上出ております。よろしくをお願いします。

○議長（須崎幸一君） 10番、竹淵博行議員。

○10番（竹淵博行君） 今、副町長のほうからいいアイデアが出たのかもしれませんが、それ手元にそういう資料あるんですか。後でお見せいただきたいと思うんですけれども、たかだか1円だけれどもされど1円なんです。そういう意味で、この何でこの5,000円ぴったりにしているのかという根拠がちょっとわからないんですよ。かといって反対するほどの話ではないんですけれども、でも一番問題なのはやっぱり消費税を減額しているような状況なので、私どもの手元にある資料でいうと、中身はわかりませんから、それは非常に行政マンとしても問題ではないでしょうか。消費税を減額しているような形であると。そこをきちっとお見せいただければありがたいと思いますけれども、口頭で言っても一々答えが違ってくるので、きちっとした答弁お願いしたいと思いますよ。

○議長（須崎幸一君） まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（武井幸二君） お答えいたします。

事業費総括表というものが手元にあります。これについてはお見せすることは可能でございます。見に来ていただければ説明を差し上げます。よろしくをお願いします。

○議長（須崎幸一君） 質疑の途中でございますけれども、休憩をとりたいと思います。

再開を11時5分といたします。

(午前10時56分)

○議長（須崎幸一君） 再開をいたします。

(午前11時05分)

○議長（須崎幸一君） 10番、竹淵博行議員。

○10番（竹淵博行君） 休憩中に課長より資料の提示をいただきました。

そこには県との、県から示された金額、そしてまた事務費の計算の何というんですか、何十%、これが何十%というような形で154万1,500円というんですか、そういうようなことが示されておりました。

しかしながら、そこには消費税そのもの、要するに含まれた金額であって、考え方によれば県の、県が今度事業をするわけで、県が見積もって、県の事業費として数千数百幾らというその端数が出ない数字があって、それに対して事務費を町のほうで計算して出しているんだというその根拠はわかりました。

しかしながら、今回示されている消費税そのものについては、県から示されたものではなくて、逆に言うと県から示されたものに対して当町担当課が計算したものだというふうに解釈されるわけでありまして。そういった中でそれが間違っている云々という話ではなくて、私が言いたいのは、今回示されている契約金額5,713万5,000円に対して消費税が519万4,090円なんだと。そうすると単純に契約金額から消費税を引いた金額が見積額という判断ではなさそうなので、今回については、私のほうもちょっと納得は余りちょっといっていないんですけども、ただ、基金を活用する、そしてその基金の財源自体、事業費がこれだけあって、消費税がこれだけあるというような多分くりじゃないんだと思うんですね、基金そのものの総額の金額。ですからその中の事業費というような判断をさせていただきます。

そういった中で、今回の数字は間違いないというふうに判断いたしますので、私の質問は以上とさせていただきます。

○議長（須崎幸一君） ほかにございませんか。

（発言する者なし）

○議長（須崎幸一君） 質疑もないようですので、質疑を打ち切ります。

自由討議を行います。

（発言する者なし）

○議長（須崎幸一君） 特にないようですので、自由討議を打ち切ります。

討論を行います。

（発言する者なし）

○議長（須崎幸一君） 討論なしと認めます。

お諮りいたします。本件については、原案のとおりこれを決定することに賛成の方は起立願います。

(起立全員)

○議長(須崎幸一君) 起立全員。

したがって、本件は可決されました。

◎議案第3号の質疑、自由討議、討論、採決

○議長(須崎幸一君) 日程第3、議案第3号 工事請負契約の締結についてを議題といたします。

本件については、去る10月1日議案調査としてありますので、ここで質疑を行います。

12番、根津光儀議員。

○12番(根津光儀君) お伺いします。この道陸神トンネル補修工事につきまして、既に設計がされて、そしてこの契約をしたい、発注していきたいということだと思わなすけれども、この工事の設計をしてくれた会社が施工に当たっての管理業務を行うのかどうかお伺いします。

○議長(須崎幸一君) まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長(武井幸二君) お答えいたします。

設計につきましては、昨年度サンコーコンサルというところに設計をお願いして設計をいたしました。管理につきましては、群馬県八ッ場ダム水源地域対策事務所の技術を仰ぎながら町のほうで管理を進めていきたいというふうに考えております。よろしくお願ひします。

○議長(須崎幸一君) 12番、根津光儀議員。

○12番(根津光儀君) 町のほうで施工の管理を行っていくということですが、この設計と、それからこの本請負契約の間の中で、工事の方法というのはこれは請負業者さんが、ここでいえば契約の相手の池原工業さんの側で工法については示して、そしてそのやり方でこうやりますということが言われているわけなんでしょうか。

○議長(須崎幸一君) まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長(武井幸二君) 工法、方法というか、前回にも説明を差し上げましたが、かなりの長いスパンが天井が少し剥落をしそうな状況にありまして、そこについては馬

蹄型のH鋼を据えてエキスパンドメタルを置くということと、あと残りについては剥がしてコンクリートで埋めて不陸を取って、その後大きなチップスみたいなのを張って落ちてこないようにするというふうな工事で、全体を、お客さんが安心して通れるような工事をするということで進めておりました、設計もそういうふうな形になっておりますし、施工される、今回、仮契約を結んでおります池原工業についてもその設計のとおり工事を進めてもらうというふうなことで進んでおります。よろしく申し上げます。

○議長（須崎幸一君） 12番、根津光儀議員。

○12番（根津光儀君） 設計どおりに工事をするということで契約していくんだと思うんですけども、やり方ですね、やり方、ですからここへこういう足場を立てて、組んでとか、それからこういう機械をここへ軌道に乗せて運搬してとかという、そういうやり方というのは相手方に任せてあるわけですかね。

○議長（須崎幸一君） まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（武井幸二君） 群馬県とあとは町とで、施工される業者さんと話をしながら進めるわけですけども、あくまでも設計指示にのっとったとおりで、こういうやり方がいいのかという提案は、いろんな工事のときも業者さんから提案が来る場合ももちろんございます。それでもって設計書に沿った工事ができるのであれば、そういうやり方を採用する場合ももちろんございます。

現場を見ながら、業者さんはこういうやり方がいいけれどもどうでしょうかという提案というのは、例えば学校をつくる時なんか、こういう方法をとっていいですかと言われたときには、先ほど言いました指示を、指導を仰ぎます群馬県八ッ場ダム工事事務所の技士さんとも話をしながら、一番いい最良の方法を、あと最短の工事で一番いい工事ができる方法を検討しながら工事を進めていきたいと思っています。よろしく申し上げます。

○議長（須崎幸一君） 12番、根津光儀議員。

○12番（根津光儀君） 大変に金額の大きな工事なんですけれども、私がここで問題に思っているのは、過去にも我が町の工事、発注して行って、そして追加工事が発生して、そして請負契約の変更締結というようなことでまた再度議会にかかるというようなことですけども、今回の場合でいいますと、そもそも債務負担行為が1億5,000万円、その中の工事というふうに私受け取っておるわけなので、そうすると現状の契約金額はもうぎりぎりでございます。要するにこれ以上金はかけられないという工事なんだと思うんですけども、その中で、例えば、これは別の課ですが、鳩ノ湯橋橋梁補修工事につきましては、工法の変更、や

り方がこうだ、ちょっと変えないとだめだというようなこと、土が足りなくなった、その土をどこをどうに通して運び込もうかというようなことで530万円ほどが追加になってしまった。最初の契約からいうと7.1%余り増額してしまったというようなことでございます。

今回もそういうことがあるのか、トンネルの中で、私たちの町で経験したことのない種類の工事でございます。町道の中にトンネルがあって、ちょくちょく工事やっているんだよというようなことですと管理上も非常にいいかもしれませんけれども、どうもそういうことではなく、設計も東京の設計、そして管理は県にちょっとお願いしていくような、頼っていくようなやり方という中で、業者さんが実はこういうことで、安全確保するのにこのくらいまたかかるんだけれどもというようなことがあると非常に、町としてこういった工事を進めていくのに今後も非常に問題があるかと思うんですけれども、その辺きっちりと現場管理をして、そして仕上りの製品の質を確保して、そして期日内に工事が進められるようやっていただきたいんですけれども、その辺はいかがでしょうか。

○議長（須崎幸一君） まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（武井幸二君） お答えします。

議員が申されたようにきっちりと管理をしながら、工事については進めていきたいというふうに思っております。

修繕というか補修工事、安全対策工事になります。先ほど、違う例で費用の増額があったという話でありましたけれども、業者さんの都合で工事費が変わるようなことはないような管理はちゃんとしていかななくてはならないなというふうには思っております。一個一個丁寧に設計書を見ながら、業者さんが提案来たものに対しては丁寧に調査をしながら、また検討をしながら、不必要な増額がないように努めてまいりたいと思っております。よろしく申し上げます。

○議長（須崎幸一君） 12番、根津光儀議員。

○12番（根津光儀君） 大変きちっとしたお答えをいただきました。ぜひ、品質を管理していただいて、非常にかつてない工事だと思うんですね。トンネルの中を電車が通るのではなくて、生身の人間が通ると。本当の小指大の石が、あるいはコンクリートが剥落しても非常に重大なことになるということが予想されますので、品質をきっちりと確保して、そして絶対にこの契約の金額の中で上がっていくようお願いしたいと思っております。

また、一言蛇足ながら申し上げれば、この私が例に出した工事のほかにも、当町では請負契約について変更が発生するということが多いため、今後、この工事が手本になるようにや

っていつていただきたいと思いますので、よろしく申し上げます。

○議長（須崎幸一君） まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（武井幸二君） 議員が申されるような管理ができるように精いっぱい努めたいと思います。よろしく申し上げます。

○議長（須崎幸一君） よろしいですか。

ほかにございませんか。

3番、井上英樹議員。

○3番（井上英樹君） 今回、道陸神トンネル補修工事に関しまして、1億5,000万円弱のまた大きな予算をかけられるということで、大変、町民からすると一つ一つの工事に大変巨額の予算がかかります。そのことが大変心配になるというふうに思います。

これはJR吾妻線廃線敷の安全対策工事の一環というふうに捉えておりますけれども、全てを安全対策していく上で、この道陸神トンネルのここの工事が必要なものであるのかというふうに思います。

この工事に関して、大変巨額な金額がかかっているわけですがございましてけれども、建設にそれなりの金額がかかるということは、この先、廃線敷には道陸神トンネルだけではなくて、幾つかそういった建造物、構造物あるかと思えます。また、のり面の整備なども今までされておるかと思うんですけれども、つくるときは巨額の金額がかかってそれなりのことができますけれども、先々のことを考えると、その点検管理をしていくのにまたそれも相当な費用がかかるのではないかとこのように思うわけでありまして。その構造物とか、またのり面のその点検管理の計画、またその将来的な財源はどのようにお考えになっているのか教えていただきたいと思えます。

○議長（須崎幸一君） まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（武井幸二君） お世話になります。

今回、安全対策として道陸神トンネルをお願いをしておるわけですがけれども、道陸神トンネルの手前には松谷トンネルございまして、8月までだったかな、補修工事が終わりました1,879万2,000円ということで松谷トンネルのほうについては補修を行っております。

また、今度道陸神トンネルにつきましては、先ほど議員申されますとおり1億5,000万円ほど、また、のり面の落石防護施設についても7月末だったかな、工事が完了しまして2,869万5,600円ということで工事が終了しております、今後につきましては、この運行についてもなんですが、この運行について岐阜県の神岡のレールマウンテンバイクの仕組み

をうちのほうで参考にさせてもらいながら事業を進めておるわけですが、まず、朝一の線路の点検、トンネル内側の点検、それは職員が1回線路を全部走って管理をして、落石がないとか、そういうことをちゃんと管理をした上での一日の運行になるというふうに思っております。また、そういう専門的な点検につきましてもほっておくようなことがないように。ちなみに道路橋梁なんかについては5年に一遍の点検をするということで決まっております。それに倣ったような方向できちんと点検をして、ずっとほったらかしにしておいて長い費用がかからないように、点検をちゃんと繰り返すことによって膨大な費用がかかる前に修繕ができるような形をちゃんと仕組みを整えて、今後お客さんにご利用いただければなというふうに考えております。

あと、財源についてなんですけれども、一応道路に認定をさせてもらっております。今後につきましては町道の一部という、町道附帯施設ということで管理をしていく形になります。そのときには道路ということになっておりますので、なるべく有利な財源も、補修とかが発生する場合にはなるべく有利な財源を入れながら、補修をきちんと行っていきたいというふうに考えておまして、町民の方に負担が、大きな負担が行かないような、観光資源として多くのお客様に来ていただけるような施設にしていきたいなというふうに考えております。よろしくお願ひします。

○議長（須崎幸一君） 3番、井上英樹議員。

○3番（井上英樹君） 将来的な計画については、今、お伝えいただいたとおりで、これは安全運行という面では最低ラインの項目かというふうに思われます。

考えたくはないんですけれども、昨今のやっぱり自然災害というのは大変大きなものが出てきておりますので、万一、例えばのり面で落石事故が起こった、その場合、例えば被害者がいたとかいう場合に、その責任範囲をどのように決めていらっしゃるのか、もしくはそういった事例が起こってから検討するという話なのか、そこら辺をちょっとご説明をいただきたいんですが。

○議長（須崎幸一君） まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（武井幸二君） 事故起きた場合というふうなご質問がございました。町で設置をする施設でございます。町に責任が来るというふうに思います。

今後、また指定管理等に管理をお願いする場合においても、指定管理の皆さんによっほどの落ち度がない限り、責任という、施設の整備の不十分さによって発生したような事故に関しては町の責任になるんだというふうに考えております。

また、ちょっと蛇足でございますが、廃線敷の途中途中に幾つか上がれる場所はもちろん、ちゃんとした道ではないんですけれどもこしらえておまして、例えばですけれども、自転車をこいでいる人が途中でぐあいが悪くなった、そういった場合にはそのところから人がおろせるような方法というのを、全部についていたら全然つまらないものという言い方もないですけれども、なので全部についているわけではないですけれども、途中途中トンネルの入り口だとかそういうところにすぐ線路上に上がれるような場所もちゃんと検討させてもらっておりまして、事故等があった場合には、前にも説明をされました、前後についている係員が、前の車が行ってしまっても後ろからの係員がおりますので、1台トロッコがとまればすぐわかります。そうした場合にはすぐ対応できるような、そういうシステムもちゃんとつくった上で、町の管理から行く行く指定管理等々への移管をしていきたいなというふうに考えております。よろしくお祈いします。

○議長（須崎幸一君） 3番、井上英樹議員。

○3番（井上英樹君） これ、そういった万が一事故が起こった場合の保険等というのはあるんですか。岐阜県のほうではどういうふうな形でやられているのでしょうか。

○議長（須崎幸一君） まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（武井幸二君） お答えいたします。

今も試験運行させてもらっておりますが、乗っていただくお客さんには保険を掛けて、イベント保険というかを掛けてございます。

うちの課ではキャンプ場の管理もしております、そこに来てくれるお客さんに掛ける保険と同等のような保険を掛けております。また、あとお客様のほうでふざけてしまって事故起きるといことがないように、乗る前にはそれなりの指導、あとはお願いをしながら乗ってもらいまして、無理な運転で事故が起こらないように。

また、万が一起きてしまった場合には、そんなに高額な保険ではないですけれども、ちょっとしたけがであれば十分見られるだけの保険は常に掛けてございますし、そういう大きな事故が起こらないような管理の仕方、それなので先ほど冒頭話しました神岡がずっと大きな事故なく、要は運行しているということは大きな事故がないから運行ができていたということ、そのノウハウも一部いただきながら、私どもで一番いい方法も検討しながら、事故が、何しろ事故が起こらないことで一番を考えながら安全第一で、とりあえず最初のうちは本当に安全運転からスタートして、皆さんに楽しんでいただけるような施設にしていきたいなというふうに考えてございます。よろしくお祈いします。

○議長（須崎幸一君） 井上議員に申し上げますけれども、本来の工事請負契約の締結についてからかなり質疑が違う方向に行っておりますので、その点を留意していただいて質問をしていただきたいと思います。

3番、井上英樹議員。

○3番（井上英樹君） 運行については、安全第一でお願いしたいと思います。

以上です。

○議長（須崎幸一君） 10番、竹淵博行議員。

○10番（竹淵博行君） ちょっと確認させていただきます。

今回、この図面見ますと、はつり工ということで、多分トンネル内、もう現在崩れているところについては大体目星はついてるんだと思うんですが、基本的にはハンマーでこうたたきながらもろいところであれば崩れてくる。そこに対して補修をしているという多分工法なんだと思います。そういった中では、かなり頻度が悪いところについて全面的な補修というふうに考えていらっしゃるわけですが、ほかの部分についてははつりをしていって、かなり継ぎはぎだらけになる可能性があるんだと思うんですが、そういった中でまた今度防護ネットを施すというような施工になっているように思いますけれども、今後、その景観の部分と、またトンネルなものですから電気工事、当然電気つける、今後つけるのではないかなというふうに思うだけども、その辺は今後の計画とすればどうなっていますか。

○議長（須崎幸一君） まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（武井幸二君） お答えいたします。

はつり工、215平米ほどというような設計になっております。全体的な面積が432メートルありますので、どのくらいの継ぎはぎになるんだかというのはあるんですけれども、議員申されるように、こう薬がべたべた張られたような形になってくるのかなというふうに思っております。また、先ほど言いました432メートルのうちの296メートルに馬蹄型のH鋼を据えて、エキスパンドメタルで押さえると。中が、もともとのコンクリートが見える、要は網なので、もともとのコンクリートが見える工事になります。もともとのコンクリートが見えるということは、ふぐあいというか、もうクラックが入ればちゃんと見えるような、点検ができるような形で、覆ってしまっても見えなくならないようにちゃんと工事もそういうふうな方向でやることで考えております。

先ほど電気の話があったんですけれども、電気については自転車型トロッコのほうにオートライトがついてございまして、それで通過をするような形で考えております。

あとは、もともとからある架線、トロリーなんかをそのまま残して、鉄道好きな方についてはもともとからある施設をみんな残して、その中を楽しんでもらえるような方法を考えておりました。直したのも直したなりに見えるような、トンネルの中をもそれなりに楽しんでもらえるような工事を進めていきたいというふうに考えております。よろしく申し上げます。

○議長（須崎幸一君） 10番、竹淵博行議員。

○10番（竹淵博行君） ありがとうございます。

直接は今回の工事請負とは関係ないんですが、そうすると今後の計画として電気は考えていないと。要するにあくまでも自転車型トロッコの電気での運行ということで考えていると。当然、今後その点検だとかいろんな考え方はあると思うんですよね。今、課長がおっしゃったトンネルがあって、現場打ちのコンクリート、継ぎの部分もある、そういった中でこう網を張る、網を張ってコンクリートが見えると言うんだけど、基本的には真っ暗で見えないよね、電気がないんだから。だからそういった意味で、点検する意味でも多少は必要なのかなんてちょっと気がしたものですから、今後の考え方としてちょっと確認だけさせていただきたいと思います。

○議長（須崎幸一君） まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（武井幸二君） お答えいたします。

係員についてはオートバイ型のトロッコで通過をするわけなんですけれども、議員申されたとおり、真っ暗であれば見えないじゃないかということでもありますけれども、もちろん係員についてはライトだとかそういう、お客さんが通るときではない、お客さんを通す前に1回点検をしてくるような方法を考えております。そのときにはもちろん懐中電灯なりでちゃんと照らせられればいいかなとも思っておりますし、今後それだけではふぐあいであれば、もちろんライトの電源の準備も進められればというふうに思っておりますけれども、当面は神岡の例を先ほどから言っていますけれども、そこについても、通るトンネルの中はみんな暗い中をこうにさっと入っていくのがまた楽しかったりするようなものもあったりするものですから、そちらのほうが受けがよければ暗い中をお客さんには走ってもらうような形でのアトラクションにしたいなというふうに考えてございます。点検についてはちゃんとやるようにしますので、よろしく申し上げます。

○議長（須崎幸一君） よろしいですか。

○10番（竹淵博行君） はい。

○議長（須崎幸一君） ほかにございませんか。

(発言する者なし)

○議長（須崎幸一君） 質疑もないようですので、質疑を打ち切ります。

自由討議を行います。

(発言する者なし)

○議長（須崎幸一君） 自由討議を打ち切ります。

討論を行います。

(発言する者なし)

○議長（須崎幸一君） 討論なしと認めます。

お諮りいたします。本件については、原案のとおりこれを決定することに賛成の方は起立願います。

(起立全員)

○議長（須崎幸一君） 起立全員。

したがって、本件は可決されました。

○議長（須崎幸一君） お諮りいたします。会議規則第45条の規定に基づき、本会議の結果、その条項、字句、数字、その他整理を要するものについては、その整理を議長に委任されたいと思います。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長（須崎幸一君） 異議なしと認めます。

したがって、条項、字句、数字、その他の整理は議長に一任することに決定しました。

○議長（須崎幸一君） お諮りいたします。本臨時会に付された事件は全て終了いたしました。したがって、会議規則第7条の規定により、これをもって閉会したいと思います。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長（須崎幸一君） 異議なしと認めます。

したがって、本臨時会はこれをもって閉会することに決定いたしました。

◎閉会の宣告

○議長（須崎幸一君） これをもって本日の会議を閉じ、令和元年第3回臨時会を閉会いたします。

大変お疲れさまでした。

（午前11時34分）

地方自治法第123条の規定により下記に署名する。

令和 年 月 日

東吾妻町議会議長 須 崎 幸 一

署 名 議 員 渡 一 美

署 名 議 員 井 上 英 樹

署 名 議 員 青 柳 はるみ